コロンビア定期報告（６月の内政・外交）

６月の内政･外交の主な動きについて以下のとおり。

I 概要

【内政】

●９日　マルティネス大統領府長官の辞任

●１６日　「権力均衡法案」の可決

●１８日　ナランホ紛争後問題・人権・治安担当大臣級審議官の辞任

●２２日　ビジェガス新国防大臣の就任

●３０日　ギャロップ社世論調査結果

【外交】

●３日　オルギン外相の和平交渉参加（於：キューバ）

●９日　オルギン外相のＥＵ－ＣＥＬＡＣ首脳会合閣僚級準備会合参加（於：ブリュッセル）

●１０～１６日　サントス大統領の欧州歴訪（ベルギー，イタリア，バチカン，スウェーデン及びノルウェー）

●１７日　ベネズエラによる国境海域関連政令の発出に対するコロンビア側抗議

●１８日　グリンスパン・イベロアメリカサミット事務局長の当国訪問

●２４～２６日　バルス・フランス首相の当国訪問

●２６日　オルギン外相の第４５回ＳＩＣＡ首脳会合及び第１５回「トゥストラ対話と協調メカニズム」首脳会合参加（於：グアテマラ）

●２９日　ナメ国会議長の中国訪問

Ⅱ 本文

【内政】

１　マルティネス大統領府長官の辞任

　９日，マルティネス大統領府長官が辞任した。後任には，グティエレス官民関係担当大臣級審議官が任命された。

２　「権力均衡法案」の可決

　１６日，「権力均衡法案」が国会を通過した。同法案は，大統領再選禁止等の三権の権力関係の改革及び機能不全が指摘されている司法府の改革を含んでいた。

３　ナランホ紛争後問題・人権・治安担当大臣級審議官の辞任

　１８日，ナランホ紛争後問題・人権・治安担当大臣級審議官は，政府側和平交渉団員としての職務に専念するため，大臣級審議官職を辞任した。

４　ビジェガス新国防大臣の就任

　２２日，ビジェガス新国防大臣が就任した。

５　ギャロップ社世論調査結果

　３０日に発表されたギャロップ社による世論調査結果（１８～２４日に実施）によれば，ＦＡＲＣとの和平交渉の支持率は４５％となり，武力による紛争解決の支持率は４６％となった。また，サントス大統領の支持率は２８％となった。

【外交】

１　オルギン外相の和平交渉参加（於：キューバ）

　３日，オルギン外相はハバナで実施中のコロンビア政府とＦＡＲＣとの和平交渉に参加した。

２　オルギン外相のＥＵ－ＣＥＬＡＣ首脳会合閣僚級準備会合参加（於：ブリュッセル）

　９日，オルギン外相はＥＵ－ＣＥＬＡＣ首脳会合閣僚級準備会合に参加するため，ブリュッセルを訪問した。

３　サントス大統領の欧州歴訪（ベルギー，イタリア，バチカン，スウェーデン及びノルウェー）

　１０～１６日，サントス大統領は，オルギン外相とともにベルギー，イタリア，バチカン，スウェーデン及びノルウェーを歴訪した。

（１）ベルギー

　１０～１１日，サントス大統領は第２回ＣＥＬＡＣ－ＥＵ首脳会合に出席するため，ブリュッセルを訪問した。１０日，シェンゲン協定国によるペルー及びコロンビアに対する短期滞在査証免除協定が，オルギン外相とアブラモプロス欧州委員会移民・内務・市民権担当委員との間で署名された。１１日発出されたＣＥＬＡＣ－ＥＵ首脳会合の最終宣言においては，コロンビア政府とＦＡＲＣとの和平交渉の進展を歓迎するとともに，各国が和平実施のため支援する用意がある旨記載された。

（２）イタリア

　１２日，サントス大統領はミラノを訪問し，国際博覧会のコロンビア・パビリオンを視察した。またサントス大統領は，レンツィ・イタリア首相及びその他の中南米諸国首脳とともに，第７回イタリア・ラテンアメリカ・カリブ会議の開会式に参加した。１３日，サントス大統領は，ＦＡＯの会議に参加した後，グラツィーノＦＡＯ事務局長と会談した。

（３）バチカン

　１５日，サントス大統領は，フランシスコ・ローマ法王と会談し，和平交渉及び紛争の犠牲者等に関して協議した。フランシスコ法王はコロンビアを訪問予定であるものの，時期は確定できない旨述べた。

（４）スウェーデン

　１５日，サントス大統領はスウェーデンを訪問し，グスタフ１６世カール国王と会談し，和平交渉に関して協議した。同会談後，サントス大統領は，ロヴェーン・スウェーデン首相と会談した。会談後の記者会見においてサントス大統領はスウェーデンによる和平交渉への支援を評価した。

（５）ノルウェー

　１６日，ノルウェーを訪問したサントス大統領は，和平調停を中心とする和平関連テーマを扱うオスロ・フォーラムに参加した。また，サントス大統領はホーコン皇太子と会談し，ノルウェー議会外交・安全保障委員会との会合をもったほか，ソールベルグ・ノルウェー首相とも会談した。ソールベルグ首相は，サントス大統領に対して和平交渉の加速化を要請した，

４　ベネズエラによる国境海域関連政令の発出に対するコロンビア側抗議

　１７日，オルギン外相の指示により，コロンビア外務省は，「島嶼海洋統合防衛海域(Zonas Operativas de Defensa Integral Maritimas e Insulares)」を設定するため５月２６日にベネズエラ政府が発出した政令２０１５年第１７８７号に対する抗議書簡をベネズエラに送った。

　同政令は，ガイアナが米系多国籍企業に対しベネズエラとの係争海域を含む国境海域での探査開始を許可したことを阻止するためのベネズエラによる措置であったが，同海域にはコロンビアとの係争海域（注：グアヒラ半島東側沖合のベネズエラ湾（コキバコア湾）内から北側にかけての海域）も含まれていた。なお，ベネズエラは同政令を７月７日付で廃止した。

５　グリンスパン・イベロアメリカサミット事務局長の当国訪問

　１８日，グリンスパン・イベロアメリカサミット事務局長が当国を訪問し，オルギン外相と会談した。コロンビアは，２０１４年１２月から２年間の持ち回り議長国となっているため，同会談においては，２０１５年及び１６年の活動予定のほか，２０１６年にコロンビアで開催予定のイベロアメリカサミットの具体的開催地につき協議した。

６　バルス・フランス首相の当国訪問

　２４～２６日，バルス・フランス首相が当国を公式訪問し，２５日，サントス大統領と会談した。２６日，同首相はメデジンを訪問し，仏語学校の開校式に出席し，同日エクアドルに向かった。

　同訪問に際して共同声明が発出され，２０１７年がコロンビア・フランス（友好協力）年であることが特筆された。訪問中，科学，教育，農業等に関連する１２の協力覚書が署名された。

７　オルギン外相の第４５回ＳＩＣＡ首脳会合及び第１５回「トゥストラ対話と協調メカニズム」首脳会合参加（於：グアテマラ）

　２６日，オルギン外相は第４５回ＳＩＣＡ首脳会合及び第１５回「トゥストラ対話と協調メカニズム」首脳会合に参加するため，グアテマラを訪問した。

８　ナメ国会議長の中国訪問

　２９日，ナメ国会議長は，中国の全国人民代表大会の招待により上海を訪問した，政府とＦＡＲＣとの和平交渉及びコロンビアがこれまでに署名したＦＴＡにつき説明した。